



進路を考えるための4本柱

進路指導部 小俣 岳（英語科）

これから進路を考える際に大切にしてほしいことを、教員として、附属高校の卒業生として、人生の先輩としてまとめてみました。

① 自分のことをよく知る

みなさんは自己紹介してくださいと言われて、どのような話をしますか？66期のみなさんには英語表現の課題で考えてもらいましたが、突然言われると案外難しいですね。自分のことは案外よくわかっていないことが多いのではないのでしょうか。そのためには、自分と向き合い、深く知るための時間の確保が不可欠です。私も附高生だった頃は、難しい授業や忙しい行事に追われ、そうした時間が足りていなかったように感じます。そこでみなさんには自分が好きなことや、できること、苦手なことなど、自分に気付く（Self-awareness）のための時間を作りましょう。

その上で、自分を語れるようになってください。例えば、夢の実現に向けてこの進学先を選んだ、自分がこんな貢献ができるからこの会社を選んだ・起業した、…など、自分視点（一人称）で語ることが求められることが数多くあります。実際私も「あなたはどう考えるの？」「あなたの経験ではどうなの？」と一人称での語りを様々な局面で求められました。「私はこう思う」「私はかつてこんなことを考えた。だから…」ときちんと言えるように、日頃から思索を巡らせ、言葉にしておきましょう。

② 自分の様々な可能性を試す

現時点で就きたい職業や、研究したいことが決まっている人も多いかもかもしれません。それは素晴らしいことで、その道を追ってください。私も附高生の頃、進路について考え始めた際、漠然と（本当に漠然とです…）国際公務員になりたいと思い、大学を選びました。

しかし、勉強をする中で、あるいは働いている中で、人生をかけて成し遂げたい別の何かと突然出会い、大きな変化を経験することがあるかもしれません。そこでみなさんには、「人は何にでもなれる」「どこにいてもやっつけていける」という自信を持ち、あらゆる可能性を持って試すつもりで、大学や進路を切り拓いて欲しいと考えています。そのためには、常に学び自分を高め続け、選択・決断・行動する力が必要です。

そして、不確実性が高く、流動的な世界を生きるからこそ、人生を自分の意志でしなやかに・柔軟に、力強く生きられるようになって欲しいと思います。



③ 人とのつながりを大切にする

何でも自分でできると感じ、実際できてしまうと感じることはありませんか？反対に、自分ひとりでできることは限定的で、人と協力して何かを達成しなくてはならないと感じることもありませんか？私が附高生活から学んだことは、この点でした。様々な教科で課される実習はグループメンバーとの協力が不可欠でしたし、実行委員長としての辛夷祭の運営はその最たるものでした。その後の大学・大学院での研究や、企業で働いていたとき、そして教員になってもなお、人と協力して何かをすることは本当に多いです。したがって、人とどうつながり、協力するかという、教科書では学べないことを学ぶことも、高校生活が持つ大切な機能の一つと考え、附高生活を満喫してください。

そして、自分の成長や仕事の成否を左右するのは人ですし、自分が目標に近づく原動力となる、人生を大きく変えるのも人です。人とのつながりや協力なしに生きられませんし、実際にこれからみなさんもたくさんの人との出会いが待っているでしょう。そこでまずは、みなさんの周りにいる身近な友達、家族、先生、そうした人達とのつながりを大切にしながら、高校生活を過ごすことも心がけてください。豊かな人とのつながりが、人生を一層豊かにしてくれることは間違いありません。

④ 直接体験を増やす

「百聞は一見に如かず」という諺があります。今は難しいことかもしれませんが、大自然、異文化、色々なこと・ものに直接触れ、体験する機会をできるだけ多く作ってください。本校の「本物教育」たる教育活動も、直接体験の連続ですよ。したがって、本校での学習活動を大切にしつつ、学校の外に出て様々な体験を積むことも増やしていきましょう。

直接体験が持つ力は、何にも代えがたく、人の成長に不可欠な要素だと考えています（この点は現在の私の研究関心でもあります）。私も留学をして、異文化を直接体験して、留学をしなければわからなかったであろう多くのことを学びました。実際に見て体験しないと分からないことは、想像以上に多いです。

昨今は特に、直接体験の貴重さや、機会を確保について深く考えなくてはなりません。インターネットを介して仮想的に様々な体験ができる時代だからこそ、直接体験や本物に触れることの意義を、改めて一緒に考えていきたいですね。そのためにもコロナ禍が早く落ち着くことを願っています。

以上、長文にお付き合い頂きありがとうございました。ほんの少しでも進路を考える参考にしてもらえたら嬉しいです。

以上